

京都大学若手人材海外派遣事業 ジョン万プログラム（職員派遣）
令和5年度事務職員短期派遣プログラム報告書

研 修 者	職 名	掛長
	氏 名	西尾 武紘
研 修 先 等	渡 航 先 国 名	タイ王国
	研 修 先 機 関 名	京都大学 ASEAN 拠点
	研 修 期 間	令和5年4月7日～令和6年3月27日
具体的な研修内容	ASEAN 拠点では、1. 戦略的国際共同研究の支援、2. 国際教育関係事業の支援、3. 国際ネットワーク形成・基盤強化、4. 国際危機管理という4つのミッションを掲げて活動しており、その活動が円滑にできるように拠点の運営サポートを行っていた。 ●拠点業務 ①経理関係 拠点内の事務所賃借料、イベント参加費、ネット・電話関連の料金、消耗品購入、現地職員の勤怠管理および雇用費の支払等を本部から送金されてくる資金を基に銀行支払の対応を出納責任者として行った。また、賃料更新、保険契約の更新等に伴う契約手続きを行った。あわせて、資金管理および資金要求等の拠点運営関連経費の管理を行った。 ②報告関係 拠点内の活動内容を毎月報告する。さらに、上半期、年間という区切りで全学海外拠点運営専門部会で報告する資料を作成した。また、定期的で開催される ASEAN 拠点ネットワーク会議および情報連絡会の開催対応を行い、その際に活用する拠点の活動内容が分かる資料の作成および報告内容の事前打ち合わせ等を行った。 ③イベント関係 本学への留学生のリクルート活動を ASEAN 地域で行った。タイ国内では在タイ日本国大使館が主催する地方留学フェア、チュラロンコン大学、タマサート大学等の各大学・高校が独自に開催する留学フェア、JASSO タイが主催する日本留学フェア等に参加し、本学の国際プログラムを紹介し、優秀な留学生獲得に向けて注力した。	

タイ科学技術博覧会に参加し、本学の研究内容を紹介する等して本学のプレゼンス向上に貢献した。



ASEAN 拠点、渉外部、現地同窓会、本学担当部局が連携のうえ開催するネットワークフォーラムでは、イベントでの受付、広報等を担当するとともに、現地同窓会と連絡を取り合って懇親会開催に向けて関連部署と調整する等の対応を行った。懇親会では多くの同窓生と名刺交換を行い、海外に居ても本学とつながる意義について説明したり、本学に求める内容等の意見をヒアリングし、関連部署にフィードバックを行った。



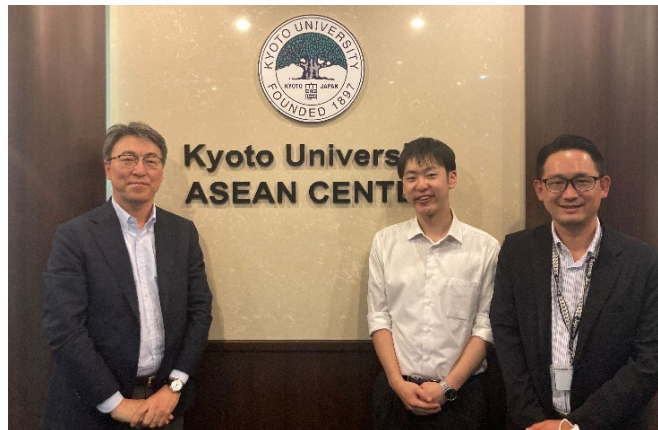


その他にも、各部局が ASEAN で開催する国際シンポジウム、国際交流プログラムには積極的に参加し、どのような研究・学術で連携を行っているのか習得するよう努め、本学の新たな魅力を発見することができた。



④面談関係

他大学、企業、本学関連部署を含め多くの機関が ASEAN 拠点に来訪され、本学の ASEAN での活動事例を紹介したり、他機関の活動について情報収集を行った。その際に必要と思われる情報は、面談記録を作成し、関連部署にも情報共有を行った。あわせて、大使館、JETRO、JSPS、JICA、他大学のバンコクおよび第三国の事務所等に訪問して、ASEAN地域での日本と関連する情報収集にも努めた。この情報も必要に応じて関連部署に共有し、大学全体の国際化に寄与した。



本学の国際化に対する研修成果の活用方法・フィードバック

色んなイベントに参加したり、面談のアポを取得して多くの方と接することで多様な考え方および本学に求められる内容を外部の方からの視点で理解することができた。特に、タイに法人を設ける日系企業の社員の方からの意見は今後の本学のファンドレージング活動に活用できるものもあり、海外での産学連携強化に結びつけることができる内容もあるかと思料する。また、ASEAN 諸国の大学からの要望についても新たな国際交流プログラムを構築していくのに参考となるものが多かった。このように現地で得られた情報を有効に活用しながら、本学の関連部署と横断的な協力をしながら国際連携を推進していくことが本学の国際化へのフィードバックとして有効なものであり、率先して行っていきたい。多種多様な文化や背景をもつ方とコミュニケーションを図る上で語学は当然必要であるが、それだけを習得するなら日本に居てもできる。やはり、バンコクに駐在して行う研修だからこそ語学だけでなく、現地でしかヒアリングできない内容や体験を通じて見聞を広めることがこの研修の醍醐味であると考えている。そのような有意義な経験ができる研修にするためには、ただ事務的な内容や本研修の概要を本学の後輩職員に説明するだけでは不十分であり、現地でのネットワークの形成の仕方について育成していくことも本学へのフィードバックとして重要なものであり、日々の業務を通じてアドバイス等を行っていきたい。

